

WAVE TO MLD コンバータ

WMC-MA2

ユーザーズマニュアル Ver 1.0.0



もくじ

Introduction ----- WMC-MA2 について	3
1. WMC-MA2 の概要	3
2. このドキュメントについて	3
Chapter 1 ----- 使用前の準備	4
1. 動作環境	4
2. セットアップ	4
Chapter 2 ----- 基本的な使い方	5
1. WAVE ファイルの準備	5
2. WMC-MA2 の起動	5
3. MLD ファイル(.mld)の作成	5
Chapter 3 ----- 機能詳細	7
1. メインダイアログ	7
2. オプション設定ダイアログ	7
3. メッセージダイアログ	8
4. バージョン情報ダイアログ	9
Chapter 4 ----- エラーメッセージ	10
Chapter 5 ----- よくあるご質問	11

<更新履歴>

バージョン	日付	内容
1.0.0	2003/05/07	新規作成

- 本書の著作権は、ヤマハ株式会社に属しています。
- 本書の内容の転載・一部複製には、ヤマハ株式会社の承諾が必要です。
- 本書の内容は予告なく変更される場合があります。

Introduction ----- WMC-MA2 について

1. WMC-MA2 の概要

WMC-MA2 は既存の WAVE ファイル(.wav)から MLD ファイル(.mld)を作成するためのアプリケーションソフトウェアです。

WMC-MA2 を使用することによりお手持ちの WAVE ファイルを元にしたオリジナルの携帯電話用サウンド(着信ボイス、メロディー、ゲームサウンド等)を簡単に作成することが可能となります。

2. このドキュメントについて

本書は WMC-MA2 のユーザズマニュアルです。WMC-MA2 のセットアップ、基本的な使い方、および、実際に MLD ファイル(.mld)を作成する際のガイドライン等について記述しています。

構成は以下のようになっていますので、必要なところからお読みください。

セットアップの方法	-----→ Chapter 1 使用前の準備
とりあえず使ってみたい	-----→ Chapter 2 基本的な使い方
詳しい使い方を知りたい	-----→ Chapter 3 機能詳細

Chapter 1 ----- 使用前の準備

WMC-MA2 を使用する前に必要な準備事項について解説します。

1. 動作環境

WMC-MA2 は以下の環境において動作します。

対応機種	Windows [®] 98SE、Windows [®] 2000、Windows [®] XP のいずれかの OS を搭載したコンピュータ
CPU	Celeron [®] 400MHz 以上、またはその互換プロセッサ
メモリ	64MB 以上
ハードディスク	10MB 以上の空き領域

2. セットアップ

WMC-MA2 にはインストーラは付属しておりません。入手した圧縮ファイルを適当な場所に展開してください。展開されたフォルダには本マニュアルと実行ファイルが含まれます。

Chapter 2 ----- 基本的な使い方

WMC-MA2 を使用すれば簡単に WAVE ファイル(.wav)から MLD ファイル(.mld)を作成することができます。ここでは実際の操作の流れを例に示して解説します。

1. WAVE ファイルの準備

WMC-MA2 を使って MLD ファイル(.mld)を作るためには、以下に示す条件を満たしている WAVE ファイル(.wav)を用意する必要があります。

サンプリング周波数	: 8kHz または 4kHz
量子化ビット数	: 16bit
チャンネル数	: 1(モノラル)

また再生時間が下記の長さを超える WAVE は、上限を超える部分が切り捨てられます。

- ・ 出力時のサンプリング周波数が 8kHz の場合・・・約 16 秒
- ・ 出力時のサンプリング周波数が 4kHz の場合・・・約 32 秒

2. WMC-MA2 の起動



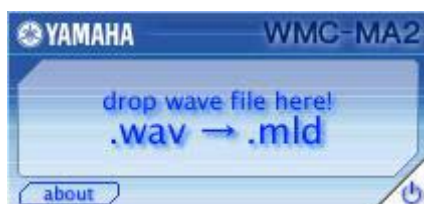
EXE ファイルもしくはそのショートカットのアイコンをダブルクリックします。

NOTE!!

「ファイル名を指定して実行」およびコマンドプロンプトからも起動できます。

3. MLD ファイル(.mld)の作成

● Step 1



起動後に表示されるメインダイアログに WAVE ファイルをドロップします。ここでは "CoolGuitar.wav" というファイルから MLD ファイル(.mld)を作成する場合の手順を例に挙げます。

- **Step 2**

WAVE ファイルに問題がなければ、続けてオプション情報設定ダイアログが表示されます。初期状態で入力ファイル名から拡張子を除いた文字列がタイトルとして入力されますので、ここではそのまま ok ボタンを押します。



- **Step 3**



コンバートが終了するとメッセージダイアログが表示され、出力ファイルのサイズを通知します。出力ファイル"CoolGuitar.mld"が元の WAVE ファイルと同じフォルダに作られます。

NOTE!!

MLD ファイル(.mld)を携帯電話で再生するにはファイルを置くための web サイトが必要となります。作成したファイルをアップロードした後、携帯電話から web サイトにアクセスしファイルをダウンロードしてください。

以上、WMC-MA2 の操作の流れについて説明しました。一般の WAVE ファイルについても同様の方法でコンバートを行うことができますが、スムーズに MLD ファイルの作成を行うために次の二つのポイントに注意してください。

- ✓ **WAVE ファイルは指定の条件を満たしていますか？**

「[WAVE ファイルの準備](#)」で示した条件を満たさない WAVE ファイルについては WMC-MA2 ではコンバートすることができません。異なっている場合は WAVE ファイル編集ソフトで前もってフォーマットの変更を行う必要があります。

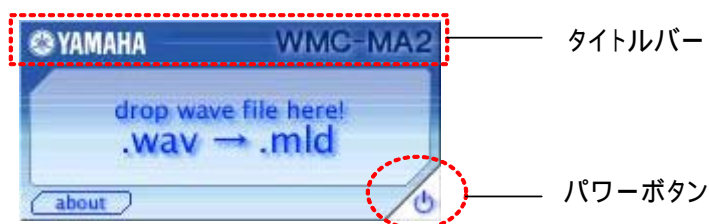
- ✓ **お手持ちの携帯電話で扱えるファイルサイズの上限を確認してください**

端末によって扱うことのできるファイルサイズの上限が異なっているため、指定の条件を満たした WAVE ファイルから作られた MLD ファイルであっても端末に転送できなかったり、あるいは転送できても再生できなかったりする場合があります。ご使用中の端末で扱えるサイズをオーバーしている場合は元の WAVE ファイルの長さを調整したりダウンサンプリングを行ったりして範囲内に収まるようにしてください。

Chapter 3 ----- 機能詳細

基本的な操作方法とその流れは Chapter 2 で説明しましたが、ここでは WMC-MA2 を構成する個々のダイアログの仕様と機能の詳細について解説します。

1. メインダイアログ



WMC-MA2 の起動後、最初に表示されるダイアログです。

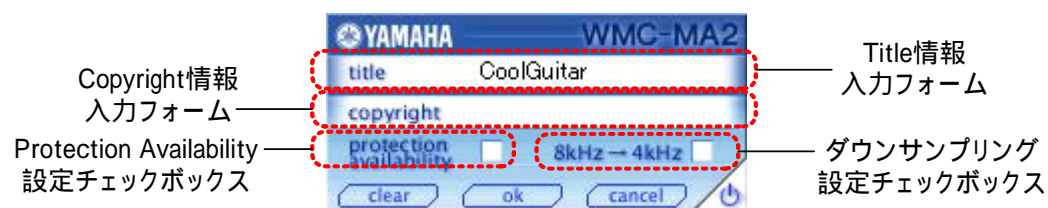
アイコンのドロップによって WAVE ファイルの入力を受け付けます。

about ボタンからはバージョン情報ダイアログを呼び出すことができます。

この他、全てのダイアログにおいて共通な機能として以下のものがあります。

- タイトルバーのドラッグによるダイアログの移動
- パワーボタンによる WMC-MA2 の終了

2. オプション設定ダイアログ



メインダイアログにドロップされた WAVE ファイルが変換条件を満たしている場合に
表示されます。このダイアログでは出力ファイル内に含まれる各種のオプション情報
を編集することができます。

但し、保存される MLD ファイル(.mld)名は元 wave ファイルと同じになります。

また、データ量を削減するためのダウンサンプリングの設定を行うことができます。

□ **Title 情報入力フォーム**

MLD ファイル(.mld)に付加するタイトル情報を入力します。初期状態では入力ファイル名から拡張子“.wav”を除いた文字列がセットされます。必要に応じて変更してください。

□ **Copyright 情報入力フォーム**

MLD ファイル(.mld)に付加する Copyright 情報を入力します。

□ **Protection Availability 設定チェックボックス**

再配布の可・不可を設定します。チェック有りで再配布不可に設定します。

□ **ダウンサンプリング設定チェックボックス**

ダウンサンプリングを行うかどうかを設定します。この設定項目はサンプリング周波数が 8kHz の WAVE ファイルを入力した場合のみ有効です。チェック有りで 4kHz にダウンサンプリングが行われます。

サンプリング周波数が 4kHz の WAVE ファイルを入力した場合はこのチェックボックスは無効状態となり、4kHz のまま出力されます。

NOTE!!

ダウンサンプリングを行うとデータ量は小さくなりますが、それとともに音質も低下します。

clear ボタンを押すと上記の入力情報がクリアされます。

ok ボタンを押すと入力情報を確定して MLD ファイル(.mld)へのコンバート処理を開始します。

cancel ボタンを押すと入力情報を破棄してメインダイアログに戻ります。

3. メッセージダイアログ

表示される状況に応じて二種類のメッセージダイアログが存在します。

□ **完了メッセージ**



正常にコンバートが完了したことを通知します。
併せて出力ファイルのサイズを表示します。

□ **エラーメッセージ**



処理の途中で何らかのエラーが発生したことを通知します。エラーに対応したメッセージを表示します。上記の例は入力 WAVE ファイルが変換条件を満たしていない場合のエラーメッセージです。

NOTE!!

表示されたエラーメッセージの詳細と主な対策については Appendix の「[エラーメッセージとその対策](#)」を参照してください。

いずれの場合も close ボタンを押すとメインダイアログに戻ります。

4. バージョン情報ダイアログ



WMC-MA2 のバージョンを確認することができます。また、青色で書かれた URL をクリックすることでサポートページへジャンプします。

close ボタンを押すとメインダイアログに戻ります。

Chapter 4 ----- エラーメッセージ

コンバート途中でエラーが発生した場合は以下のメッセージが表示されます。

エラーメッセージ	原因と主な対策
WAVE ファイルを開けません	WAVE ファイルの読み取りが許可されていないか、または他のアプリケーションでファイルを使用中です。ファイルの属性を確認するとともに WAVE ファイルが使用中でないか確認してください。
拡張子が“.wav”ではありません	WAVE 以外のファイルを入力していませんか？もしくはファイルの拡張子が間違っていないですか？入力ファイル名を確認してください。
ファイル名が長すぎます	入力されたファイルの絶対パスが文字数の制限を越えています。ファイルを上位の階層に移動するか、フォルダ名・ファイル名を短くしてください。
不正な WAVE ファイルです	拡張子は“.wav”ですが、WAVE 形式でない可能性があります。もしくはデータが壊れています。別の WAVE ファイルを用意してください。
対応しない WAVE フォーマットです	入力された WAVE ファイルは変換条件を満たしていません。Chapter 2 の「 WAVE ファイルの準備 」を参考にして、フォーマットを確認してください。
WAVE の再生時間が短すぎます	WMC-MA2 では再生時間が 20 ミリ秒以下の WAVE ファイルを扱うことが出来ません。再生時間が 20 ミリ秒よりも長いファイルを用意してください。
“.mld”ファイルを保存できません	同名のファイルが読み取り専用で存在している、もしくはフォルダ自体への書き込みが許可されていない可能性があります。フォルダおよびファイルの属性を確認してください。

Chapter 5 ----- よくあるご質問

Q 複数の WAVE ファイルをドロップしたのに、MLD ファイル(.mld)が一つだけしか作られない。

A 一度に入力できる WAVE ファイルは一つだけです。複数のファイルが選択された状態でドロップした場合はマウスカーソル直下のファイルのみをコンバートの対象とします。複数の MLD ファイル(.mld)を作成したい場合はその回数分だけコンバートを行う必要があります。

Q 新たに MLD ファイル(.mld)を作成したらそれ以前に作ったファイルが見当たらなくなった。

A 出力される MLD ファイル(.mld)の名前は Title 情報とは無関係に元の WAVE ファイルの拡張子".wav"を".mld"に置き換えたものになります。出力先に既に同じ名前の MLD ファイル(.mld)が存在する場合は上書き保存しますので、重要なファイルについてはあらかじめ名前を変えておく、または別フォルダへ移動しておく必要があります。

Q ウィンドウから文字がはみ出てレイアウトが崩れてしまう。

A 画面のプロパティからフォントサイズを「小さいフォント」に設定してください。通常のサイズ(96dpi)以外のフォントサイズではきれいに表示されません。